

# 石川県特定鳥獣保護管理計画イノシシ（要旨）

## 1 計画策定の目的及び背景

イノシシは、平成2年から、捕獲数が増大するとともに、県南部から分布及び農業被害が拡大しており、その対策が要請されている。そのため、イノシシを適正に管理すると共に、農林業被害の未然防止と人と野生鳥獣との共存を図ることを目的とする。

2 対 象 イノシシ（県内の地域個体群）

3 地 域 全県

4 計画期間 平成21年11月1日～平成24年3月31日（第10次鳥獣保護事業計画期間に準拠）

## 5 管理指針

### (1) 狩猟管理

目 標 : 狩猟圧を高め、平成23年度時点の農業被害額を、平成19年度の80%に抑える。

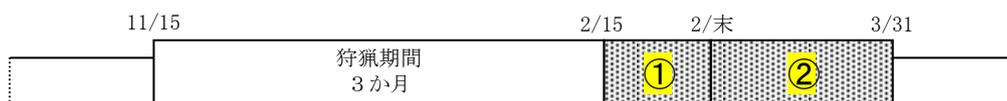
方 策1 : 猟期の延長

延長期間：2月16日から3月末日

このうち、

① 2月16日から2月末日：銃猟及びわな猟

② 3月 1日から3月末日：はこわな猟及びとめさしのための銃猟に限る



方 策2 : 特例休猟区の設置

被害拡大地域において、地元の要望に基づき、特例休猟区を設置する。

### (2) 管理のための地域区分

地域区分は分布地域、分布拡大地域、分布拡大危惧地域の3地域とする。

ア 分布地域 : 既に分布定着し、被害が恒常的に発生している地域。

イ 分布拡大地域 : ア及びウ以外の地域(現在分布拡大が進行中で、今後、被害の拡大が予想される地域)

ウ 分布拡大危惧地域 : 分布の確認がなく、被害もない地域

### (3) 地域区分毎の被害防除

ア 分布地域 : 地域ぐるみによる、侵入防止と被害防止対策。

イ 分布拡大地域 : 地域ぐるみによる、侵入防止と被害防止対策。隣接県と連携した施策の推進

ウ 分布拡大危惧地域 : 早急な侵入防止策の実施と推進

## 6 その他

### (1) モニタリング（効果判定）調査とフィードバックによる計画の見直し

効果測定、経過追跡のためモニタリングを行い、その結果をフィードバックして、検討を行い、計画の見直しを行う。

ア 調査内容 被害調査 : 被害の種類、量、季節

捕獲実態調査 : 捕獲圧(出猟日数、出猟人数、わな設置日数)

捕獲実態(捕獲数、性別、発育段階、捕獲地域)

被害対策実態調査 : 対策の種類、規模、効果

イ フィードバック方式による毎年の実施内容の見直し

狩猟管理・被害防除の実施→モニタリング調査→効果測定・検討評価→

→狩猟管理・被害防除の実施

### (2) 普及啓発・研修

イノシシの急速な分布拡大と深刻な農業被害発生について、当該地域の住民に対し理解を得るとともに、被害防止のために必要な計画とその確実な実施に理解を得るため普及啓発する。

また、計画の円滑な実施と遂行に必要な捕獲等の技能向上を計るため、農家や地域住民、捕獲従事者を対象とした研修を実施する。